

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名：地域高規格道路 佐賀唐津道路 一般国道203号 多久佐賀道路（I期）	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 九州地方整備局
起終点：佐賀県多久市東多久町大字別府 佐賀県小城市三日月町長神田	延長：5.3km	
事業概要：多久佐賀道路（I期）は、唐津市と佐賀市を連絡する地域高規格道路「佐賀唐津道路」の一部を構成し広域的な交流・連携を支え、物流支援に寄与する事から、佐賀県における重要な路線として位置づけられる。さらに、当該地域の唯一の幹線道路となっている国道203号の交通混雑の緩和にも寄与する。		
H15年度着工準備	H一年度都市計画決定	H一年度用地着手
H一年度工事着手		
全体事業費	約280億円	事業進捗率
計画交通量	15,500台～21,300台/日	2%
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.5 (残事業) 1.5	総費用：(残事業)/(事業全体) 181/189億円 (事業費：168/176億円) (維持管理費：13/13億円)
		総便益：(残事業)/(事業全体) 276/276億円 (走行時間短縮便益：237/237億円) (走行経費減少便益：20/20億円) (交通事故減少便益：19/19億円)
基準年：平成23年		
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.3～1.7（交通量±10%） 事業費：B/C=1.3～1.6（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.7（事業期間±20%）		
【残事業】交通量：B/C=1.3～1.7（交通量±10%） 事業費：B/C=1.4～1.7（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.3～1.7（事業期間±20%）		
事業の効果等 ①地域間の交流・連携の支援 ・沿線都市間の所要時間短縮により地域間交流を支援 ②交通混雑の緩和 ・国道203号の交通混雑の緩和 ・国道203号の損失時間の減少 ③交通安全性の向上 ・国道203号の交通量減少に伴う死傷事故率の低下 ④救急医療活動の支援 ・多久市から佐賀大学医学部附属病院への所要時間が短縮 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮		
関係する地方公共団体等の意見 佐賀県、佐賀市、唐津市、多久市、小城市ほか周辺自治体などの首長・議会議長で構成される国道203号佐賀・唐津幹線道路整備促進期成会（会長：唐津市長）や、国道203号バイパス多久・佐賀間整備促進期成会（会長：小城市長）より、早期整備の要望を受けている。（平成23年8月）		
県知事の意見： 事業継続については異議ありません。 佐賀県では、地域や産業の活性化や災害対策のため、地域間の移動時間や距離を短縮すること、また、予定している時間どおりに移動・輸送ができるようになることは非常に重要であると認識しており、このためには、県内の主要都市を結ぶ走行性の高い広域幹線道路ネットワークの整備が必要である。 今回の、再評価される多久佐賀道路（I期）は、広域幹線道路ネットワークを形成する道路と位置付けており、早期に整備を進めていただきたい。		
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・沿線地域の1世帯あたりの自動車保有台数は増加傾向であるとともに、国道203号の交通量は横這いであ		

